

1. 身体活動にはどんなものがある？

- ①運動遊び
ボール、フープ、なわを使った遊び
固定遊具の遊び
かくれんぼ、鬼ごっこ
- ②表現遊び
音楽に合わせたリズム、ダンス
劇ごっこ
- ③日常生活の中の身体活動
生活、当番活動、遊びの場づくり

2. 社会性の発達と遊び

- ひとり遊び（保育者と）
→傍観（友達の動きを観る）
→集団ひとり遊び（同じ場所で遊ぶがやり取りは少ない）
→共同遊び（一緒に遊び、少しずつやり取りが始まる いざこざもある 例：貸して、いいよ！）
→組織的遊び（遊びの場を自分たちで作ったり、ルールを考えたりするようになる）

3. 発達の過程を理解する…保育者は、良い観察者として、どこをどのように見るか

心の動き 何を楽しんでいるのか、○○そのものになる、先生や友達の動きを「まねる」→一緒に、合わせてみる。同じ動きをすることは、幼児期に独特の楽しさがある。＝共鳴、共振。友達を通して自分に気づく、私はこうしてみたい＝「自己決定」「主体的な活動」

体の動き 乳幼児期の運動発達は生涯にわたり利用される運動技能の土台を形成する（砂時計モデル）☞図参照。遊びの中で多様な動きを経験していることが大切（幼児期運動指針）☞資料参照
仲間とわくわくした気持ちで動きを合わせながら、コーディネーション力を高めていく。

4. 身体活動の内容研究…グループワークで話し合ったことを記録しましょう。

- ①『だいじょうぶ？ズコッ』 鈴木翼・福田翔

- ②『エビカニクス』 ケロポンズ

- ③『バタタケンチ』 ブラジルの遊び

- ④『蜘蛛になって遊ぼう』 幼児の運動遊びの実践 5歳児編（株）新宿スタジオより

- ⑤『宇宙ステーションで遊ぼう』 幼児の運動遊びの実践 5歳児編（株）新宿スタジオより